

School Management Plan (= S M A P) 令和4年度：スクールマネジメントプラン

本校の教育目標

郷土「春吉」に誇りを持ち、ともに学びよりよい未来を創り出す
子どもの育成

めざす子どもの姿

- ・ 礼儀正しく素直な子
 - ・ 善し悪しの判断ができる子
 - ・ 思いやりがあり、優しい子
 - ・ 健康で明るい子
 - ・ 自分で考え、行動する子
- は 「はい」の返事で自分から
る ルールを守って行動する
よ よい子は優しい声かけ・思いやり
し しんぼう強く、たくましく
小 将来への夢や希望をもって

P T A 組織
学校サポーター会議
いじめ虐待防止対策委員会
公民館
校区自治協議会
校区人尊協
保・幼稚園・中学校
等

日本国憲法
教育基本法
学校教育法
教育委員会教育施策
令和4年度学校教育
指導の重点
第2次福岡市教育振
興基本計画

めざす学校の姿

- 研究校として伝統を築いていく学校
- 子ども一人一人を全職員で見守り育てようと努力する学校
- 校内外の環境がよく手入れされ、清潔で明るい学校
- 教科の基礎基本を大切にした指導法の改善工夫を進める学校
- 小規模校の温かい人間関係の中でやりがいと活気のある学校
- 保護者・地域との連携・協力をもとに信頼され開かれた学校

学校経営方針

- ・ 日々の子どもの成長を喜びとし、授業力向上、学級経営力向上の取組を続け、同僚性を発揮し確かな教育を積み上げる。
- ・ 「聴き合い活動」を中心に、言語活動の充実を図り子どもの人間力を高めることに全力で取り組む。

今年度の重点的な取り組み

○ 確かな学力をはぐくむ教育の充実

春吉の学習規律の徹底 ・ 立腰姿勢、目を見て体を向け聞く
計画的・組織的な学力向上の取組の推進

- ・ 漢字・音読・算数検定の全校実施
- ・ 表現の場の設定：全校朝会での音読発表やスピーチ
- ・ 評価的指導の場の設定：音読検定、家庭連携

多面的な個別評価と個別指導の充実

【評価理解】

- ・ 理解、思考、表現の力や創造、コミュニケーション力等からなる多面的な個別評価による児童理解
- ・ 学力調査をいかした客観的評価資料の活用
- ・ 学年単学級を活かした学級経営

【指導方法の工夫】

- ・ 算数、理科の習熟度別学習、個別課題に応じた指導の充実
- ・ 異学年学習交流による自己課題発見と学び合いの場の創造

全体計画に基づく総合的な学習の時間の充実

- ・ 問題解決的な学習単元構成 ・ 体験活動による実践的学習
- ・ テーマ研究の深化・発展及び言語活動の充実

・ 研究主題「自分の考えや思いを伝え合い、
豊かに学ぶ子ども」の育成
～フリップを活用した「聴き合い活動」を通して～

小中連携を見通す単元の関連性を重視した教育課程編成

- ・ 小中連携、小学校学年連携の教育課程の検討改善と試行

○ 豊かな社会力をはぐくむ教育の充実

人権感覚を高める教育の推進

- ・ 課題設定による改善活動の具現化 自己達成感による充足
- ・ 縦割り活動によるリーダーシップ・フォロワーシップ育成による自己有用感の獲得

基本的な生活習慣づくりと生徒指導・教育相談の充実

- ・ 「春吉つっカード」による規則的な生活習慣改善の「見える化」
- ・ 遅刻・欠席の半減をめざした家庭連携の取組構築

自ら実践できる日常の道徳教育の推進

- ・ 「挨拶」「掃除」の徹底と、ボランティア活動

○ 健やかな体をはぐくむ教育の充実

食育の推進

- ・ 食育指導全体計画の作成 ・ 食の知識と望ましい食習慣
実態に応じた体力向上

自己管理能力を高める健康教育の推進

- ・ 新体力テストの実施 ・ 課題把握
- ・ 家庭と連携した体力の向上への取組

喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育と性教育の計画的組織的取組

給食後の「歯みがき」の徹底

今日的課題への対応

- ・ 「メディアとの共生」をめざす情報リテラシーの育成

○ 個性や特性をはぐくむ教育の充実

特別支援教育の推進

- ・ 全学年全教職員による組織的支援体制づくり
- ・ 特別支援学級児童の将来像にもとづく個別指導計画の作成
- ・ 個に応じた指導での学力向上・交流学習による学習

福岡市日本語指導体制の確立に向けて

- ・ 日本語指導拠点校としての指導内容や評価の検討
- ・ 児童、家庭の実態把握シートの作成と配置校や外部機関との連携組織の創造

個々の能力や個性伸張を図るクラブ活動の充実

- ・ 春吉太鼓等、地域人材を活かした指導体制とその充実

○ 開かれた学校づくりの推進

学校理解を深める積極的な教育情報の発信

- ① 学校要覧の配布やホームページの随時更新
- ② 「学校だより」(月1回)の発行
- ③ 学校公開日の設定
- ④ 学校サポーター会議(学校評価委員会)・いじめ防止対策委員会の開催

家庭との連携

- ① 早朝交通安全指導(月1回)
- ② 「親子登校日」(毎月1回)での家庭ぐるみの生活規律づくり
- ③ 学習参観から学習参加へ…親子共同学習への取組

小中連携の活性化

- ・ 中学校ブロック交流、4校校長会・保幼小連絡会の実施
- ・ 観点を特化した部体制、授業参観、指導の共通化
- ・ S S W を軸とした情報交流会の設定と実施

○ 組織的・計画的な学校経営の推進

学校評価による課題改善の推進

- ・ 評価結果と改善取組の公表
- ・ 改善取組の学年重点取組の形成的評価の実施

目標管理による教員評価制度の活用

- ・ 児童の行動や目標値設定による達成度の「見える化」
- ・ 教職員の年度達成感と次年度への意欲化・指導力の向上

実践力ある組織づくり

- ・ テーマ研究や学力向上部会などの有機的連携
- ・ 専科会による指導方法交流

○ 安全・安心な学校づくりの推進

安全確保についての体制の整備

- ・ 校内危機管理マニュアルの見直し(感染症防止対策含む)
- ・ 課題別緊急対応方法と具体的な対応内容フローの作成
- ・ いじめ防止対策委員会を軸とした学校・地域連携指導の確立

危機管理意識の向上

- ・ 即日的な家庭訪問等、直接対面対応の徹底
- ・ 組織的対応、機動力：報告・連絡・相談と共有化

○ 教職員の資質・指導力の向上

学級経営研修の推進

- ・ 各自の授業課題改善の為の公開授業研究

服務・倫理校内研修の推進

- ・ 教育者としての自覚と使命の理解：信用失墜行為の撲滅
- ・ 倫理研修、情報保護研修の計画的実施

研修機関等における研修の充実

- ・ 経験年数や職能、課題に応じた選択研修の計画的講習